

一般会計等財務書類 注記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の評価基準及び評価方法

有形固定資産……………取得原価

(2) 有形固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除きます。）……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 6年～50年

工作物 10年～50年

物品 3年～ 8年

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

①徴収不能引当金

長期延滞債権

個別に回収可能性を検討し、徴収不能見込額を計上しています。

②退職手当引当金

退職手当債務から退職手当組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうち揖斐広域連合へ按分される額を加算した額を控除した額を計上しています。積立金額が退職手当債務を上回る場合は、当該超過額を基金（その他）に計上しています。

③賞与等引当金

翌年度6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(4) リース取引の処理方法

①ファイナンス・リース取引

ア. 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が1年以内のリース取引及びリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

イ. ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

②オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(5) 資金収支計算書における資金の範囲

現金及び現金同等物

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含んでいます。

(6) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 物品の計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。

② 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、工事等の性質により分類しています。

2 会計方針の変更

(1) 貸借対照表の基金（その他）に計上している退職手当組合積立金の増減について令和4年度より純資産変動計算書の科目を用いて処理する方法に変更します。

(2) 長期延滞債権の増減の財源仕訳を令和4年度よりその他（固定資産等形成分）及びその他（余剰分（不足分））を用いて処理する方法に変更します。

(3) 会計処理の適正性を高める観点から、令和6年度より空調設備を有形固定資産（建物附属設備）として資産計上し、耐用年数に応じて減価償却を行う方法へ変更いたしました。これにより、資産の利用実態をより適切に財務諸表に反映することを目的としています。

3 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

② 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

(2) 貸借対照表に係る事項

① 売却可能資産の範囲と内訳

売却可能資産の範囲は、財務書類対象年度の翌年度予算において、財産収入（財産売払収入）として措置されている公共資産としています。当年度において売却可能資産はありません。

(3) 純資産変動計算書に係る事項

純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

① 固定資産等形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

② 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

揖斐広域連合 令和6年度

(4) 資金収支計算書に係る事項

① 業務・投資活動収支 66,889 千円

② 既存の決算情報との関連性

(単位：千円)

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	351,180	342,729
財務書類の対象となる会計の範囲の相違に伴う差額	0	0
繰越金に伴う差額	9,906	0
資金収支計算書	341,274	342,729

③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

資金収支計算書

業務活動収支	75,281 千円
減価償却費	△16,305 千円
賞与引当金繰入額（引当金増差額考慮）	1,284 千円
<u>純資産変動計算書の本年度差額</u>	<u>60,261 千円</u>

④ 一時借入金

資金収支計算書上、一時借入金の増減額は含まれません。

なお、一時借入金の限度額及び利子額は次のとおりです。

一時借入金の限度額 50,000 千円

一時借入金に係る利子額 なし

【様式第5号】

附属明細書

1. 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 有形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	前年度末残高 (A)	本年度増加額 (B)	本年度減少額 (C)	本年度末残高 (A)+(B)-(C) (D)	本年度末 減価償却累計額 (E)	本年度償却額 (F)	本年度末 減損損失累計額 (G)	本年度減損額 (H)	差引本年度末残高 (D)-(E)-(G) (I)
事業用資産	2,767,950	9,348	1,095,415	1,681,883	801,081	16,305	-	-	880,802
土地	330,864	1,189	-	332,054	-	-	-	-	332,054
立木竹	88,781	-	-	88,781	-	-	-	-	88,781
建物	2,208,210	6,300	1,095,415	1,119,095	685,841	14,308	-	-	433,253
工作物	140,095	-	-	140,095	115,240	1,997	-	-	24,855
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	1,859	-	1,859	-	-	-	-	1,859
インフラ資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土地	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
物品	38,413	-	28,969	9,443	9,443	-	-	-	0
合計	2,806,363	9,348	1,124,385	1,691,327	810,525	16,305	-	-	880,802

② 有形固定資産の行政目的別明細

(単位:千円)

区分	生活インフラ・ 国土保全	教育	福祉	環境衛生	産業振興	消防	総務	その他	合計
事業用資産	-	-	199,208	592,813	88,781	-	-	-	880,802
土地	-	-	199,208	132,845	-	-	-	-	332,054
立木竹	-	-	-	-	88,781	-	-	-	88,781
建物	-	-	-	433,253	-	-	-	-	433,253
工作物	-	-	-	24,855	-	-	-	-	24,855
船舶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
浮標等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	1,859	-	-	-	-	1,859
インフラ資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土地	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工作物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	-	-	-	-	-	-
物品	-	-	-	0	-	-	-	-	-
合計	-	-	199,208	592,813	88,781	-	-	-	880,802

④基金の明細

(単位:千円)

種類	流動・固定	現金預金	有価証券	土地	その他	合計 (貸借対照表計上額)	(参考)財産に関する 調書記載額
財政調整基金	流動	32,645	-	-	-	32,645	32,645
退職手当組合積立金	固定	-	-	-	4,598	4,598	
合計		32,645	-	-	4,598	37,243	

⑤貸付金の明細

(単位:)

相手先名または種別	長期貸付金		短期貸付金		(参考) 貸付金計
	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	貸借対照表計上額	徴収不能引当金 計上額	
合計					

貸付金はありません

⑥長期延滞債権の明細

(単位:千円)

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【貸付金】		
小計	-	-
【未収金】		
その他の未収金		
施設使用料	731	731
小計	731	731
合計	731	731

⑦未収金の明細

(単位:千円)

相手先名または種別	貸借対照表計上額	徴収不能引当金計上額
【貸付金】		
小計	-	-
【未収金】		
小計	-	-
合計	-	-

(2)負債項目の明細

①地方債(借入先別)の明細

(単位:千円)

種類	地方債残高	うち1年内償還予定	政府資金	地方公共団体 金融機構	市中銀行	その他の 金融機関	市場公募債		その他
							うち共同発行債	うち住民公募債	
【通常分】	155,592	16,785	-	155,592	-	-	-	-	-
一般公共事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公営住宅建設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
災害復旧	-	-	-	-	-	-	-	-	-
教育・福祉施設	155,592	16,785	-	155,592	-	-	-	-	-
一般単独事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【特別分】	-	-	-	-	-	-	-	-	-
臨時財政対策債	-	-	-	-	-	-	-	-	-
減税補てん債	-	-	-	-	-	-	-	-	-
退職手当債	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	155,592	16,785	-	155,592	-	-	-	-	-

②地方債(利率別)の明細

(単位:千円)

地方債残高	1.5%以下	1.5%超 2.0%以下	2.0%超 2.5%以下	2.5%超 3.0%以下	3.0%超 3.5%以下	3.5%超 4.0%以下	4.0%超	(参考) 加重平均 利率
155,592	155,592	-	-	-	-	-	-	0.20%

③地方債(返済期間別)の明細

(単位:千円)

地方債残高	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 15年以内	15年超 20年以内	20年超
155,592	16,785	16,819	16,853	16,886	16,920	71,329	-	-	-

④特定の契約条項が付された地方債の概要

(単位:千円)

特定の契約条項が 付された地方債残高	契約条項の概要

⑤引当金の明細

(単位:千円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額		本年度末残高
			目的使用	その他	
徴収不能引当金(長期延滞債権)	731	-	-	-	731
賞与等引当金	1,689	404	1,689	-	404
合計	2,420	404	1,689	-	1,135

2. 行政コスト計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位: 千円)

区分	名称	相手先	金額	支出目的
他団体への公共施設等 整備補助金等(所有外資産分)				
	計		-	
その他の補助金等	派遣職員経費負担金	揖斐川町・大野町・池田町	91,060	派遣職員経費負担金(12名)
	退職手当組合負担金	岐阜県市町村職員退職手当組合	273	退職手当組合負担金(1名)
	総合行政情報システム利用負担金	揖斐川町	473	総合行政情報システム利用負担金
	その他		409	
	計		92,216	
合計			92,216	

3. 純資産変動計算書の内容に関する明細

(1) 財源の明細

(単位: 千円)

会計	区分	財源の内容		金額
一般会計	税込等	分担金及び負担金		271,867
		小計		271,867
	国県等補助金	経常的補助金	国庫支出金	28,054
			都道府県等支出金	14,027
			計	42,081
	小計		42,081	
	合計			313,948

(2)財源情報の明細

(単位:千円)

区分	金額	内訳			
		国県等補助金	地方債	税収等	その他
純行政コスト	255,084	42,081	-	197,982	15,020
有形固定資産等の増加	9,348	-	-	9,348	-
貸付金・基金等の増加	4,955	-	-	4,954	1
その他	-	-	-	-	-
合計	269,387	42,081	-	212,284	15,021

4. 資金収支計算書の内容に関する明細

(1) 資金の明細

(単位:千円)

種類	本年度末残高
現金	-
要求払預金	8,451
短期投資	-
合計	8,451